

申請番号		承認日	
------	--	-----	--

\*同窓会で記入します

2011年9月29日

日本福祉大学高浜専門学校同窓会 殿

申請者

(所属) 社会福祉法人椎の木福祉会 (職名) 生活相談員

(氏名) 目次哲也 (介護福祉学科 3 期生 98C073 )

(連絡先) e-mail metsugi@zuikoh.jp

研究代表者

(所属) 社会福祉法人椎の木福祉会 (職名) 生活相談員

(氏名) 目次哲也

## 研究奨励事業申請書

### I. 研究計画等の概要

1. 研究課題名	介護施設における介護職員のモチベーションとストレスに関する調査研究		
2. 研究等実施者	(所属) 椎の木福祉会 (氏名) 森川武彦	(職名) 生活相談員	(所属) 椎の木福祉会 (氏名) 西本誠司
	(所属) 椎の木福祉会 (氏名) 山下正義 (介護福祉学科 11 期生 206C059)	(職名) 生活相談員	(所属) 椎の木福祉会 (氏名) 岡崎将司
3. 研究実施場所	社会福祉法人椎の木福祉会 各事業所 (特養 2 か所、デイ 1 か所)		
4. 研究実施期間	同窓会承認日	～	年 月 日

5. 実施計画の概要	<p>1. 研究目的</p> <p>本研究は介護施設に務める介護職員のモチベーションとストレスの内実を明らかにし、法人として必要な支援のあり方を検討することを目的とした調査研究である。</p> <p>2. 研究意義 3. 研究内容</p> <p>介護職員の離職率が年々深刻化を増す中、介護従事者の処遇改善を目的とし介護報酬改定（平成 21 年度介護報酬改定率が 3%）が行われたことは記憶に新しい。しかし日本介護福祉士会が実施した全国調査によれば、その後若干の処遇改善傾向は見られるもの、回答者の 8 割は「給与以外に処遇改善の変化は見られない」ことを明らかにしている（2010）。このような状況下、介護職員が求める処遇改善に向けた取り組みは、給与体系に関わる問題だけでなく、各事業所の実状に合わせ、その具体案を検討していくことが求められている。本調査はこのような問題意識をもとに特別養護老人ホーム 2 施設及びデイサービスを運営する社会福祉法人 1 事例を対象に、介護職員のモチベーションとストレスに関する質問紙調査及び、類型モデルを作成するためのインタビュー調査、参与観察を行う。そして、これらの結果をもとに介護職員の実践を支えるモチベーションと所属するフロア特性の関連を構造化し、離職防止や職員教育に必要な法人組織としての支援のあり方についてのモデル化をはかる。</p> <p>4. スケジュール</p> <p>本事業は月に 1 回研究会を実施し、静岡県立大学短期大学部講師鈴木俊文氏の助言を受けて進める。</p> <p>8 月 第一段階調査の対象者 調査項目の確認・決定</p> <p>9 月 バーンアウト診断調査（質問紙調査）実施・回収</p> <p>10 月 質問紙調査結果のデータ入力・SPSS による分析 （静岡県立大学短期大学部助教佐藤桂子氏に委託）</p> <p>11 月 分析結果に基づく群分け、フロア特性の分析 第 2 段階調査の対象者 調査内容の確認・決定</p> <p>12 月 参与観察・聞き取り調査</p> <p>1 月 逐語起こし</p> <p>2 月 第一段階調査結果に基づき、参与観察・聞き取りの質的データ分析の開始（エスノグラフィー、グラウンデッドセオリーのどちらかを予定）</p> <p>3 月 分析結果のまとめ （モチベーション維持、バーンアウトプロセスモデル化）</p> <p>4 月 分析結果に基づく法人内の対応モデル（職員研修等）の検討・作成</p> <p>5 月 日本福祉大学高浜専門学校卒業研修会に報告</p> <p>6 月 対応モデルの試運転</p> <p>8 月 日本介護学会にて口頭発表 本研究成果の論文作成。「介護福祉士」に投稿。</p> <p>9 月 介護老人福祉施設協会全国大会にて口頭発表</p> <p>10 月以降 他施設の調査と合わせて比較検討を継続していく</p>
------------	---

6. 研究成果の公表 方法 (同窓会以外)	<input checked="" type="checkbox"/> 学会等で発表 (日本介護学会及び 介護老人福祉施設協会全国大会) <input checked="" type="checkbox"/> 研究報告書を作成 <input checked="" type="checkbox"/> 学会誌等に寄稿 静岡県立大学研究紀要及び介護福祉士 <input type="checkbox"/> その他 ( )
-----------------------------	---

## Ⅱ. 研究資金（研究経費内訳）

費 目	金 額（単価×数量）	小 計
消耗費	・事務用品 筆記具、印刷用紙、書類ファイル、 U S Bメモリー、電池、	10,000
通信費	郵送切手代	2,000
旅費	佐藤桂子講師分析結果報告 施設訪問旅費 (静岡～半田)	12,000
印刷費	質問紙、調査結果、分析資料、研究報告書等	21,500
賃借料		
謝金	統計分析データ入力、分析委託費（20,000） 逐語起こし委託費（20,000）	40,000
会議費		
備品	・パワーポイントソフト	11,500
その他	・先行研究論文複写依頼等	3,000
合 計		100,000 円

## Ⅲ. 個人から収集する情報・データ等

1. 対象者及び対象者として選定した理由	対象者：社会福祉法人椎の木福祉会で勤務する介護職員 理由：本研究は事業特性を含めた介護現場のタイプ（ユニット型・従来型・通所型）別の類型化を試みることを目的にしており、1法人で複数事業を展開する当法人を対象とした。また、本研究の成果は具体的な改善策を提案することも目的にしていることから、詳細な調査研究が可能となる1法人に限定した。
2. 対象人数	椎の木福祉会介護職員 100名程度
3. 収集の方法 *調査用紙があるときは添付すること。	<p>【調査，観察，解析などデータ収集の具体的な方法】</p> <p>① 事前紙面調査（バーンアウト診断検査MB I 田尾翻訳改訂版） ② インタビュー調査 ③ 参与観察 ④ ①～③の調査結果を基にしたフォーカスグループインタビュー</p> <p>【委託する機関等】 契約書の有無 <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり</p> <p>①質問紙調査結果、データ入力及びSPSSによるクロス集計 静岡県立大学（短期大学部助教：佐藤桂子氏）</p> <p>②インタビュー調査、逐語起こし 静岡県立大学（短期大学部鈴木俊文研究室アシスタント）</p>
4. 謝礼	<p>謝礼の有無 <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり</p> <p>【謝礼がありの場合，その金品の種類，金額など】</p> <p>①②共に謝金 各 20,000</p>



	<p><b>【説明者が申請者と異なる場合，その理由】</b> 本研究の申請者が会議出席者ではないために研究実施者が代行する。</p>
--	--

VI. 同意に関する事項

1. 同意書の作成 *作成する場合は同意書を添付すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 作成する（当法人役職者会議にて決定）
	<input type="checkbox"/> 作成しない 【理由および同意を得たことを確認する方法】
2. 代諾の方法	【代諾を得る理由】
	【代諾者】

VII. その他

1. 安全管理上特記する事項および配慮している事項について

特になし

2. 添付書類の一覧

説明書  
 同意書  
 その他（上記以外に添付書類がある場合は、その書類名）

3. 研究資金の受け取りについて

卒後研修会当日に手渡しで受け取る  
 研究開始時に銀行振り込みで受け取る  
金融機関名（ ）支店（ ）  
口座番号（ ）名義人（ ）  
 その他 研究開始時に手渡しでの受け取り希望。